九州国際重粒子線がん治療センター（愛称サガハイマット）

サガハイマット応援団2014

治療患者600人超える 肺がん、肝がんが増加

九州国際重粒子線がん治療センター「サガハイマット」は肺や肝臓など呼吸に合わせて動く臓器の治療開始から、3月で1年を迎え、計画を上回る多くの患者さんが治療を受けられています。最近の治療状況などについて、戸山真吾医師に聞きました。

戸山真吾 医師にインタビュー

戸山真吾（とやま・しんご）

山口県出身。医学博士。放射線治療専門医。がん治療認定医。佐賀大学医学部を2004年に卒業後、同大附属病院での初期臨床研修を経て同大放射線医学講座に入局。2011年10月から1年間、放射線医学総合研究所で重粒子線治療を学び、2013年4月からサガハイマットに勤務。

■サガハイマット着任からこれまでを振り返っての感想を聞かせてください。

開設前の2013年4月に着任しましたが、予想を上回る患者数の多さが示している通り、サガハイマットに対する患者さんの期待の大きさを感じています。特に、治療対象部位が広がった昨年3月からしばらくは患者さんが急増し、最も大変な時期でした。しかし、スタッフみんなの頑張りで乗り越えることができました。

私自身は、重粒子線治療の先行施設である、千葉県の放射線医学総合研究所で前立腺がんを中心に1年間研修を受けました。その経験をサガハイマットに生かしながら、安全を第一に心がけ、患者さんにとって一番いい治療を提供できるよう努めてきました。また、近隣の大学病院や地域の中核病院等との連携もうまくいき、サガハイマットならではの治療体制は確立しつつあると思います。

■前立腺がん患者の治療状況を教えてください。

前立腺がんは60代以上に多いのですが、近年は40代や50代でも発症が見られます。まさに働き盛りの世代。「入院はしたくない」という方が多く、重粒子線治療を選ぶ患者さんが増えています。

サガハイマットでは今年2月末までに631人を治療し、その中で前立腺がんは424人を占めています。前立腺がんの場合、まずは半年間程度ホルモン療法を行い、がんの勢いを弱めた後、重粒子線治療を行う方が効果的なケースもあるため、今も多くの患者さんがサガハイマットでの治療に向けてホルモン療法を受けられています。

重粒子線を含む放射線療法は、照射後すぐにがんがなくなるというものではなく、徐々にがんが小さくなっていくため、治療効果は長期的に見ていく必要があります。ただ、前立腺がんの指標となるPSA値は下がるので、照射の効果を確認することはできます。副作用も少なく、経過は良好です。

■昨年3月に肺や肝臓などの治療が始まって1年がたちます。この1年間の治療患者数、治療事例などを教えてください。

この1年間ではやはり、肺がんと肝がんの患者数が増えています。2月末時点で肺がんは55人、肝がんは54人を治療しました。肺がんは男性に多く、体力的に外科手術が難しい高齢の患者さんが重粒子線治療を希望されることも多いですね。初期の肺がんの場合、治療回数は4回。つまり1週間で治療が終わるので、患者さんもびっくりされます。

一方、肝がんの治療のポイントは、肝機能を可能な限り温存することです。重粒子線治療はピンポイントで腫瘍を照射でき、肝臓へのダメージを少なくできます。肺がんと同じで照射回数は通常4回。患者さんへの肉体的、精神的負担が少なく、喜ばれています。ただ、肝臓は「沈黙の臓器」といわれるように自覚症状がなく、発見した時には治療の選択肢が少ないケースもあります。サガハイマットがその受け皿になれればと考えています。

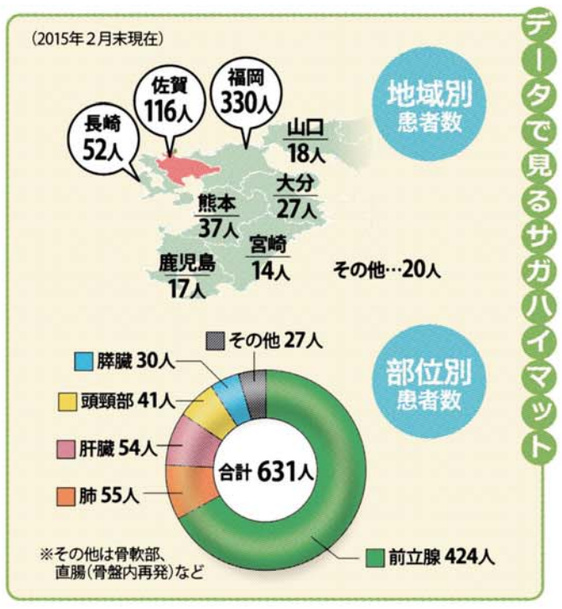
サガハイマットでは、この1年でたくさんの患者さんを治療しました。前立腺をはじめ、肺、肝臓などの臓器について、サガハイマット流の治療のノウハウができてきたと思っています。

■今後の抱負をお願いします。

これからは、1年間の治療患者数が500～600人、あるいはそれ以上になると思います。このペースを安定的に続けていくことが、次年度の目標です。治療実績を積み重ねていくことで、サガハイマットの信頼も高まります。患者さんの声をしっかり聞き、信頼関係を築いて、できるだけ多くの患者さんを治療していきたいと考えています。

また、2017年の導入に向けて、次世代型のペンシルビーム・スキャニング照射装置の準備が進んでいます。新しい装置は照射精度がさらに高まり、今よりもっと体にやさしい治療ができるものと期待しています。早期導入へスタッフの力を合わせて頑張りたいですね。

地域の医療機関との連携スムーズ



SAGA HIMAT
SAGA Heavy Ion Medical Accelerator in Tosu

九州国際重粒子線がん治療センター（サガハイマット）

所在地　〒841-0071 佐賀県鳥栖市原古賀町3049番地
ホームページ　http://www.saga-himat.jp/

サガハイマットの受診に関する相談窓口

電　話 ■ 0942-50-8812
（受付時間：平日の9時～12時、13時～17時）
メール ■ saga-himat@saga-himat.jp

岸川亜里沙 地域連携室長に聞く

電話相談は毎月300件

岸川亜里沙室長

サガハイマットには県内外から、さまざまな問い合わせや相談の電話が寄せられます。その窓口となる地域連携室の岸川亜里沙室長に聞きました。

●相談件数・内容

開院当初は前立腺がんの治療から開始したということもあって、月平均200件ぐらいでしたが、治療対象部位が広がった昨年からは月300件を超えるようになり、肺や肝臓、膵臓などについての相談が増えています。「治療できますか」「診察を受けるにはどうすればいいですか」といった内容がほとんどですが、治療方法、治療費などの具体的な問い合わせもあります。

●応対時の心がけ

電話対応のため、聞き違いや言い間違いのないよう、メモをとりながら肝心なところは反復して誤解が生じないように心掛けています。

高齢の方も多いので、まずはゆっくりと話を聞き、理解していただけるように、一つ一つ段階を踏んで説明しています。また、がんの確定診断がされているかどうか、CTやMRI、血液検査、組織検査など診察に必要なものがそろっているかどうかを確認していきます。そのため、1件につき20分程度話をすることもあります。最終的に治療ができるかどうかを判断するのは当センターの医師ですので、私はそのための橋渡し役だと思っています。

●アドバイス

サガハイマットを受診するには、がんと確定診断されていること、がんが1カ所にとどまっていることなどいくつかの条件があります。ホームページにも掲載していますが、電話での問い合わせにも対応しています。また、相談されたい方の病状がよく分からない方からですと、一般的な話しかできません。本人や病状説明を聞かれた近しい身内の方から電話していただけると、スムーズに話ができます。もちろん、セカンドオピニオン外来も対応しています。

●今後の抱負

自分に何ができるかを考えながら、今後も電話をかけてこられる方の思いに寄り添って、優しく丁寧に接していきたいと思っています。

セカンドオピニオンにも対応

がん先進医療受診環境づくり事業を実施中

治療費助成、利子補給で患者をサポート

佐賀県では、公的医療保険の適用がないがん先進医療を受診する場合の治療費の助成や、治療費を金融機関から借りた場合の利子の補給を行っています。重粒子線治療に限らず、国内の医療機関でがん先進医療を受診した佐賀県民（県内在住1年以上）の方が対象です。

■治療費助成制度
治療費の10分の1以内（限度額30万円）を助成。ペプチドワクチン療法など県外の施設でがん先進医療を受ける場合も対象。

■利子補給制度
治療費を金融機関から借りた場合、その利子を補給。補給利率は6％以内で、補給期間は7年以内。県内外14の金融機関が佐賀県と協力協定を締結し、専用ローンを販売しています。

問い合わせ　佐賀県粒子線治療普及グループ　☎0942（87）3072

サガハイマットに寄付を

「サガハイマット応援団」では、サガハイマットへの寄付を県民の皆さんから募っています。佐賀新聞社内にある佐賀善意銀行が窓口で、平日の午前9時半～午後5時に受け付けています。寄付金は佐賀国際重粒子線がん治療財団に贈ります。

問い合わせ　佐賀新聞社営業局内の事務局　☎0952（28）2141

佐賀国際重粒子線がん治療財団への直接の寄付も引き続き呼び掛けています。県内、ひいては九州のがん医療の充実につながるサガハイマットへのご支援をよろしくお願いします。同財団への直接の寄付は、特定公益増進法人に対する寄付として税制上の優遇措置があります。

問い合わせ　佐賀国際重粒子線がん治療財団　☎0942（81）1897

サガハイマット応援団とは？
九州国際重粒子線がん治療センター（サガハイマット）を県民に広く知ってもらい、併せてがん撲滅の機運を盛り上げていこうと、佐賀新聞社が企業、団体などと連携して2011年度に“結成”した。特集紙面での紹介のほか、サガハイマットへの寄付を呼びかけていく。

わたしたちもサガハイマットを応援しています

このまちで、あなたと 佐賀銀行 http://www.sagabank.co.jp

Make Next. 九電工 おかげさまで70周年 佐賀支店 佐賀市神野東2-6-26 TEL/0952-33-2002 FAX/0952-31-8609

くらしの保障、相談するなら JA共済 http://www.ja-kyosai.or.jp

働くあなたの健康と作業環境の改善をサポート 一般財団法人 佐賀県産業医学協会 佐賀市鍋島町八戸1994番地1 TEL0952-22-6729

地方独立行政法人 佐賀県医療センター 好生館 〒840-8571 佐賀市嘉瀬町中原400 TEL 0952-24-2171(代) FAX 0952-29-9390 http://www.koseikan.jp

損害保険部 生命保険部 サーク不動産部 サーク建設部 その他 TOKIWA 常盤商事株式会社 〒840-0813 佐賀市唐人一丁目6番16号（佐賀銀行本店前） TEL/0952(25)0155 FAX/0952(25)0154

明治安田生命 5年ごと配当付組立総合保障保険 進化する保険 ベストスタイル 佐賀支社 〒840-0816 佐賀県佐賀市駅南本町3-15 明治安田生命佐賀ビル5F TEL 0952-24-0171

あなたの未来を強くする 住友生命 大好評 スミセイのがんPLUS 住友生命保険相互会社 佐賀支社 〒840-0816 佐賀市駅南本町5-1 住友生命佐賀ビル7F TEL:0952-24-2373

一生涯のパートナー 第一生命 ブライトWay アシストセブン 第一生命保険株式会社 佐賀支社 〒840-0054 佐賀市水ヶ江1-2-28 TEL 0952-22-2161(代)

みらいのカタチ 選べる「11種類の保険」で、さまざまな生き方にピッタリ寄り添う保険を提供します。 NISSAY 日本生命保険相互会社 佐賀支社 〒840-0801 佐賀市駅前中央 1-14-40 ニッセイ佐賀駅前ビル 1F TEL:0952-32-2727（お客様窓口） 販 26-44313 H26.12.15(期限H27.12)

高度先進医療保険についてのお問い合わせは当社まで 学資保険・アフラックがん保険・医療保険・損害保険・個人年金 株式会社 SAGASHIMBUN LIFE MANAGEMENT 佐賀新聞ライフマネジメント 〒840-0804 佐賀市神野東3丁目1番35号 TEL 0952-36-4510(代) FAX 0952-36-4511 フリーダイヤル 0120-607-880

新 健康のお守り 医療保険(2014)B型 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社 佐賀支社 〒840-0815 佐賀県佐賀市天神2-2-37 損保ジャパン日本興亜佐賀天神ビル1階 TEL0952-28-4300

太陽生命 お客様の『これがいい』を実現します!! 保険組曲 Best 佐賀支社 〒840-0801 佐賀県佐賀市駅前中央1-4-8 6階 TEL 0952-26-7313(代)

ちょうどいい、わたしの保険 未来のとびら 特約組立型総合保険 ちょうどいい安心を、あなた自身で作れる保険です。 富国生命保険相互会社 佐賀支社 〒840-0832 佐賀市堀川町 1-14 TEL：0952-24-6291 すてきな未来応援します フコク生命

お客さまと未来へ。 マイ・パートナー・バンク 佐賀共栄銀行 きょうぎん 検索